会長就任のご挨拶

東京延友会
会長　佐藤純二

東京延友会会長就任のごあいさつを申し上げます。
昨年１１月１０日開催された総会におきまして黒木前会長の後任に推挙いただき本年１月から会長に就任いたしました。

私は昭和４０年の卒業です。東京オリンピックが開催された昭和３９年が高校３年生の年でした。舟木一夫の［高校３年生］や東洋の魔女と言われた日本女子バレーの活躍などが懐かしく想い出されます。学生時代を東京で送り、そのまま東京に本店のある企業に就職、大阪を振り出しに名古屋、青森、大阪と東京を行ったり来たりの転勤を繰り返し平成１０年にようやく東京に落ち着きました。ちょうどその頃、当会の秋の総会・懇親会の実行委員の担当学年が回ってきてこれを機に延友会活動に参画するようになり今日に至っています。

さて、当会の最近の活動状況等について２点書いてみたいと思います。

まず、第１点は一昨年から取組んだ「現役高校生の先輩企業訪問」であります。これは黒木前会長の発案によるもので、２年生が修学旅行で上京した折、先輩の勤務する職場を訪ね、先輩の経験、仕事に対する考え方、職場環境等を見聞し体験するというもので、昨年１２月、修学旅行生２００名強全員の参加のもと第２回目を終えたところです。第１回目は８人、第２回目は１４人の OB の方々が多忙な中、受け入れをしていただきました。これが生徒諸君の今後の進路決定に少しでもお役にたてれば、と願っています。今後も先生方と十分連携しながら続けて行きたいと考えています。

第２点は宮崎県の県北９高校（西高、延工、延商、東高、高千穂高、富島高、聖ウルスラ学園、日向高、延高）の関東の同窓会組織を横断的に結集し、「宮崎県北高校同窓会連合会（郷土の「ばんば踊り」に因んで「BAMBA 会」と称す)」を結成したことであります。これは県北経済界や行政から発信される情報の受け皿として、また東京から故郷への情発信母体として、その役割・機能を担っていく組織が必要との永年の問題意識を今般具体化したものであります。第１回目の「BAMBA 会」を３月２３日東大駒場のレストラン(学食)で開催いたしましたが、若手中心の実行委員（実行委員長は延高平成９年卒の横木麻子さん）の素晴らしい活躍のお蔭で４４０名余という非常に多くの方々の参加を得ることができました。参加者皆で「ばんば踊り」を大変楽しく踊り大成功裏に初めてのイベントを終えることができました。

同窓会は申すまでもなく故郷を懐かしみ会員相互の親睦と交流を主たる目的としていますが、これに加え母校の発展に貢献していく活動も今日的に大変重

要な課題であると考えています。会員のご理解・ご協力も得ながらこれからも積極的に取組んいきたいと思います。

役員は副会長に吉良蔦枝、久峩十三生、柳田斉士（兼事務局長）、事務局長代理に今村浩、監事に年吉洋,甲斐淳平の各氏で新体制がスタートしたところです。

もとより微力ではありますが、老・壮・青１８５９名会員の多様なニーズへの対応を図り、役員一致団結のもと本部や会員の皆様のお力添えをいただき母校への貢献と東京延友会の発展をめざし頑張ってまいる所存であります。どうぞよろしくお願い申し上げます。